

林業ぐんま



第7回美しいぐんまの山と森フォトコンテスト 知事賞「白ヤシオの森」 撮影者 岸 美喜雄

目次

林政情報	1
平成二九年度群馬県森林関係施策の概要	
森林GISフォーラム	
東京シンポジウムに参加	
山火事予防にご協力ください	
平成29年度春の緑化関連行事予定	4
普及コーナー	
ぐんま林業学校	
第二十回群馬県さのこ品評会の開催	
乾しいたけ(原木)の出荷自粛解除	
各地のたより	
(渋川) 間伐コンクール地区審査を実施	7
(西部) UAV(ドローン)	
研修会について	
(藤岡) 素材生産業務の	
省力化・効率化の試み	
(富岡) 『STOP!!山火事』	
林野火災発生ゼロへの取り組み	
(吾妻) 高山村で	
企業ボランティアによる森林整備	
(利根沼田) 利根沼田地域	
素材生産拡大対策協議会の立ち上げ	
(桐生) 森林経営計画講演会を	
開催しました	
トピックス	11
農林水産業関係機関成果発表会	
地域を担う人	
萩原 健二さん	12
横坂 賢二さん	
大木 龍志さん	13
金子 悦治さん	
森の談話室	
小さな町の大きな挑戦	
神流町 町長 田村利男さん	14
林業試験場から	
群馬県内のヤマビル分布について	
森林・林業を支え、みどり豊かな	
郷土群馬づくりに貢献する	15

春

2017

林政情報

平成29年度 群馬県森林関係施策の概要

県民が健やかで安全に安心して暮らせる豊かで美しい郷土ぐんまの創造を目指して、林業の再生と森林環境の保全を推進する施策を、県民や事業者と協働して総合的に、かつ効果的に実施します。

平成28年3月に策定した県総合計画「はばたけ群馬プランII」に沿った施策体系及び予算の状況は次のとおりです。

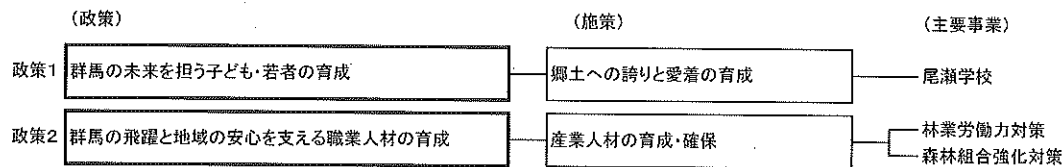
森林関係の県予算は、総額132億5444万円、対前年比は94%となりました。

また、公共事業費は、補助公共事業が対前年比99%、単独公共事業が対前年比99%となっています。

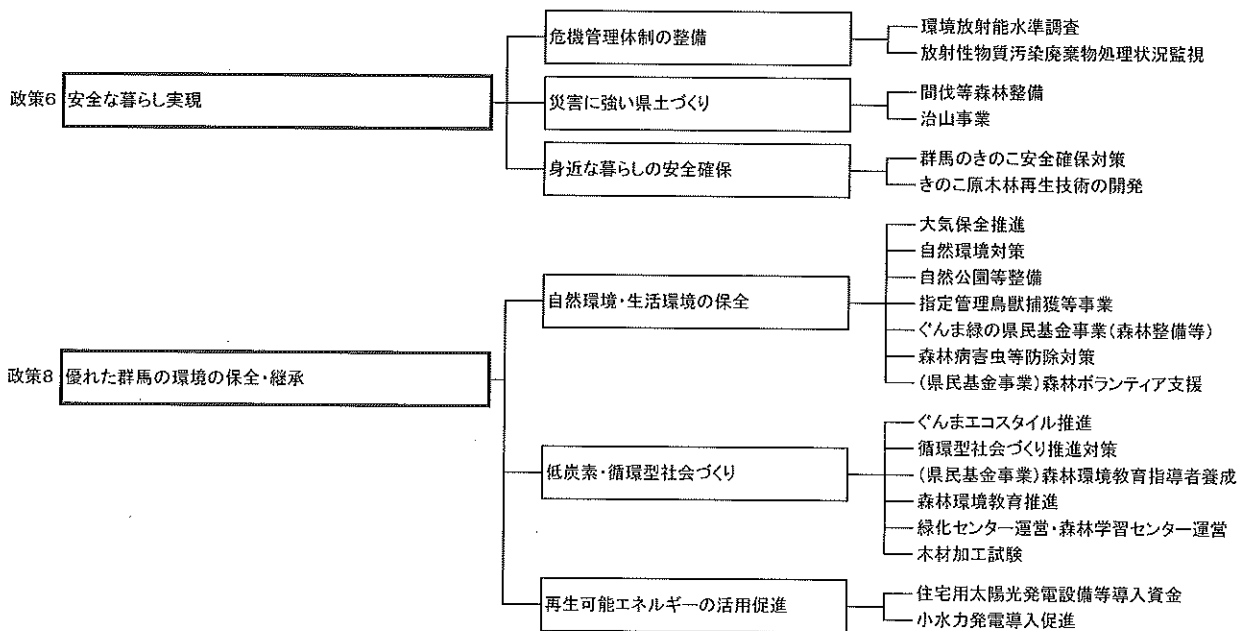
今後、人口減少が本格化する中で、安心して将来にわたって住み続けたいくなるような「魅力あふれる群馬」の実現に向けて、各種施策を推進してまいります。

平成29年度 環境森林部 施策体系及び主要事業

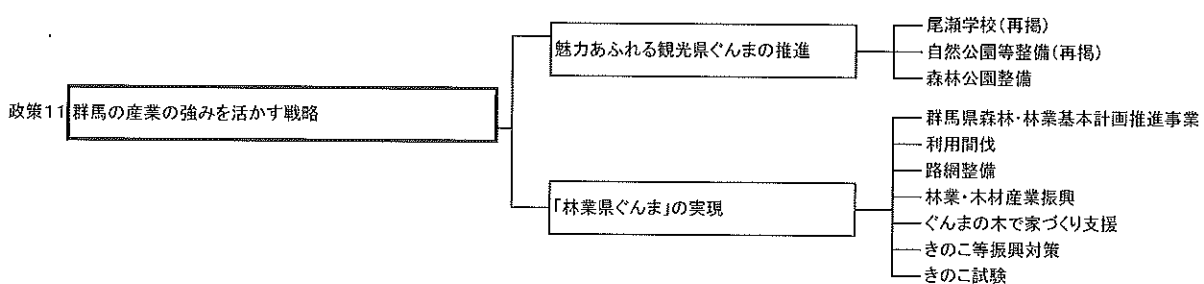
基本目標 I 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり



基本目標 II 誰もが安全で安心できる暮らしづくり



基本目標 III 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり



環境森林部(森林部門) 平成29年度当初予算の状況

1 所属別予算額 (単位:千円)

課 名	H29当初 予算額	H28当初 予算額	増 減	前年比
林 政 課	5,252,281	5,180,480	71,801	101.4%
林 業 試 験 場	238,407	257,916	△ 19,509	92.4%
林 業 振 興 課	1,389,667	2,167,523	△ 777,856	64.1%
森 林 保 全 課	6,078,246	6,188,222	△ 109,976	98.2%
緑 化 推 進 課	295,831	298,799	△ 2,968	99.0%
計	13,254,432	14,092,940	△ 838,508	94.1%

2 公共事業 (単位:千円)

区 分	H29当初 予算額	H28当初 予算額	増 減	前年比
補 助 公 共	6,314,000	6,349,969	△ 35,969	99.4%
林 道	970,029	1,083,619	△ 113,590	89.5%
作業道	574,280	580,702	△ 6,422	98.9%
治 山	3,790,295	3,867,068	△ 76,773	98.0%
造 林	859,396	668,580	190,816	128.5%
災害復旧	120,000	150,000	△ 30,000	80.0%
単 独 公 共	2,804,000	2,830,000	△ 26,000	99.1%
林 道	294,000	300,000	△ 6,000	98.0%
林業作業道	270,000	300,000	△ 30,000	90.0%
治 山	2,100,000	2,100,000	0	100.0%
造 林	89,000	79,000	10,000	112.7%
水源宝くじ	51,000	51,000	0	100.0%

**森林GISフォーラム東京
シンポジウム2017に参加**

平成29年2月1日、東京大学農学部において、森林GISフォーラム東京シンポジウム2017が開催されました。森林GISフォーラムは、森林GISの応用と普及を目的とした産学官連携の組織です。フォーラムでは、「空間情報がつなぐ人・森・地域」をテーマにして、熊本地震における災害対応へのGISの活用や流域関係者(事業者、市町村、県)で同一のGISを使用して導入後のつまづきを軽減し、戦略的に森林経営計画の作成に取り組んでいる事例、航空レーザ計測を使用した精度の高い森林資源情報を把握した上での森林経営計画の作成などの発表が行われました。特に興味深かったのは、福岡県糸島市の発表でした。糸島市は林業振興による地域活性化を図ることを目的に、森林再生プロジェクトを開始し、レーザ計測や集約化を進め、来年度に独自の木材需要創出(案)を作成するとのことでした。

当日の配付資料は、同フォーラムのホームページ (<http://fsg.jp/>) 内に掲載されております。興味のある方は、ご覧下さい。

林政情報

山火事予防にご協力ください！
火の用心森から聞かせるありがとう

**3月1日～5月31日は県山火事予防
 運動実施期間です**

県内では、3月～5月の間に、年間の山火事発生件数の約7割が集中しています。このことの背景としては、冬～初夏にかけてのこの時期は、

- ・ 空気の乾燥や強風など、火災が発生（延焼）しやすい気象条件となることが多いこと
- ・ 行楽や、野外での作業に適したシーズンとなり、山林への人の出入りや、野外で火を使う機会が増えること
- ・ などが考えられます。

そのため県では、3月1日～5月31日を県山火事予防運動実施期間とし、予防対策に重点的に取り組んでいます。

平成28年の山火事発生件数は17件、被害を受けた森林面積は1.45ヘクタールとなっており、昨年に続き、近年では比較的少ない状況でした。

しかしながら、山火事は消火が難しい場合も多いため、ひとたび発生すると、非常に大きな被害をもたらしかねず、油断は禁物です。平成26年4月に桐生市で発生した山火事で

は、消火活動を開始してから完全に鎮火が確認されるまでに2週間以上を要し、190ヘクタール（東京ドーム約40個分）を超える森林が被害を受けました。

この山火事跡地では、災害を防止するための森林の復旧事業などが進められています。が、焼けてしまった森林を再生し、災害を防止するなどの公益的機能を回復させるまでには、多くの費用と長い時間が必要になります。

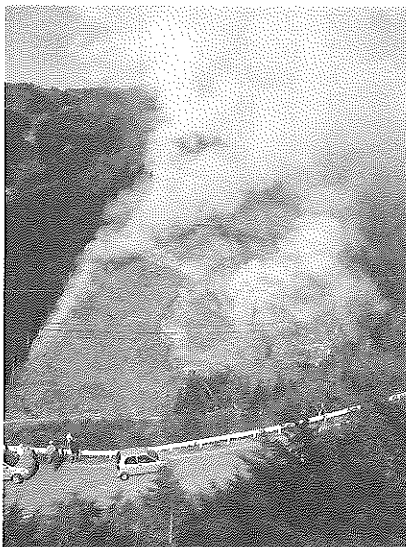
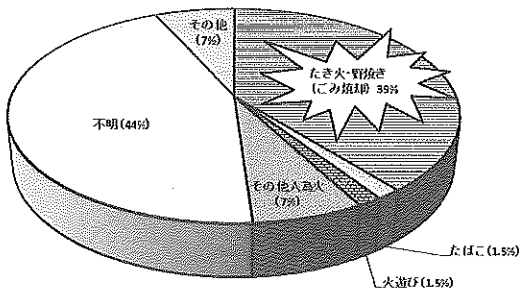
山火事を防ぐには

山火事の出火原因は、人の不注意などによるものがほとんどです。特に、家の庭や田畑の周りでのたき火などから山林に燃え広がる事例などが、依然として多くなっています。

「ちよつと

した油断から起きる小さな火事」を減らし、県民共通の財産である緑の森林を守るため、特に次のようなことに気をつけましょう。

平成24～28年 林野火災発生原因(件数割合)
 (計133件)



- ・ 枯れ草等の近くなど、周囲に燃え広がる恐れのある場所でたき火等をしない
- ・ 風の強い時や空気が乾燥している時は特に火の取扱に注意し、たき火等をしない
- ・ 火気の使用中はその場を離れず、使用後は確実に消火する
- ・ たばこの吸い殻、使用後の花火や炭、焼却灰などは、必ず消火を確認し、適切に処分する
- ・ 火遊びはしない、させない

もしも山火事を発見したら...

燃え広がった火事を無理に消そうとするのは大変危険です。すみやかに119番通報し、安全な場所に避難しましょう。

群馬県林政課 森林整備係

電話 027-226-3221 (直通)

平成29年度 春の緑化関連行事予定

市町村名	実施日	行事の名称(☆は苗木配布会を予定)	実施場所
前橋市	4月1～16日	赤城南面千本桜まつり	赤城南面千本桜
	4月2日	☆さくらまつり	大胡ぐりーんふらわー牧場
	4月5～6日	第25回全国さくらサミットin前橋	みやぎ千本桜の森ヤマダグリーンドーム
	4月29日	敷島公園まつり	敷島公園
	4月29日	☆「緑の募金」推進中央キャンペーン	敷島公園(敷島公園まつり会場内)
	4月下旬	☆須賀の園藤まつり	須賀の園
	5月3日	☆「みどりの日」記念 苗木配布会	前橋市中央商店街(中央広場)
	5月3～5日	敷島浄水場開放	敷島浄水場
	5月上旬	☆苗木配布会(赤城神社参道松並木と千本桜の森ウォーキング)	みやぎ千本桜の森
	5月中旬	☆苗木配布会(粕川町つつじが峰トレッキング)	おおさる山乃家
	5月21日	☆苗木配布会(参道松並木グリーン作戦)	赤城神社参道松並木
	5月13日～6月4日	バラ園まつり	敷島公園ばら園
	5月20～21日	敷島オープンガーデンフェスティバル(個人の庭解放)	敷島公園周辺
伊勢崎市	5月3～4日	☆グリーンフェスタ2017	華蔵寺公園
渋川市	4月15日	しぶかわ桜まつり	渋川市総合公園
	4月22日	森林観察会	憩の森森林学習センター
	4月29日	☆小野上温泉まつり	小野上温泉センター
	5月1日	☆苗木配布会(子持山開き)	子持山若人の道駐車場
	5月2日	しぶかわ花フェスタオープニングセレモニー	石段アルフィン公園
	5月13日	森林観察会	憩の森森林学習センター
	5月20日	☆伊香保森林公園トレッキング・登山	県立伊香保森林公園
	5月21日	☆苗木配布会(渋川駅前通り歩行者天国)	渋川駅前通り歩行者天国会場
吉岡町	4月15日	道の駅よしおか温泉交流会	道の駅よしおか温泉
玉村町		漆原桜祭り観覧会	漆原桜並木
	5月28日	☆苗木配布会(玉村町クリーンセンター見学会)	玉村町クリーンセンター
高崎市	4月23日	☆花水木まつり	群馬銀行新町支店駐車場
	4月29日	☆たかさきスプリングフェスティバル緑花祭	群馬音楽センター前広場
	4月下旬(予定)	☆みさと芝桜まつり	みさと芝桜公園
	5月27～28日	誕生記念樹木贈呈	高崎市役所南側ピロティ
安中市	4月22～5月21日	花と緑のくんまつり	碓氷峠の森公園、坂本宿
藤岡市	5月13日	☆安中市緑化用苗木配布会	安中市文化センター
神流町	4月29日(予定)	☆苗木配布会	らん藤岡
神流町	5月5日	☆苗木配布会(鯉のぼりフェスティバル)	鯉のぼりフェスティバル会場内
	5月20日	第71回群馬県植樹祭	神流川公園
上野村	5月4日	☆苗木配布会(十石市)	ヴィラせせらぎ付近会場内
富岡市	4月23日	☆春の苗木配布会	上州富岡駅前広場
	5月13日	☆春の苗木配布会	上州富岡駅前広場
下仁田町	5月3日	☆さくらの里観光PRイベント(春の苗木配布会)	さくらの里駐車場
南牧村	5月上旬(予定)	☆山菜まつり(春の苗木配布会)	道の駅「オアシスなんもく」
甘楽町	4月2日	☆さくら祭り武者行列(春の苗木配布会)	甘楽町総合公園
	4月中旬(予定)	☆記念苗木植樹	甘楽町小幡(連石山登山口)
	4月中旬(予定)	☆記念苗木植樹	甘楽ふるさと農園
中之条町	4月16日	☆苗木配布会(中之条町「安市」)	「つむじ」付近
長野原町	5月2日(予定)	☆苗木配布会(創業祭)	道の駅ハッ場ふるさと館
嬬恋村	4月29日	☆苗木配布会(嬬恋村「安市」)	三原商店街
東吾妻町	4月9日	☆苗木配布会(すいせん祭り)	岩井親水公園
沼田市	3月29日～4月26日	沼田公園桜まつり	沼田公園
	4月16日	☆苗木配布会	沼田公園クラウンド
川場村	5月3日	☆グリーンフェスティバル川場2017	道の駅「川場田園プラザ」
昭和村	4月末定	結婚記念植樹	結婚の森
	4月29日	☆「昭和の日」記念イベント苗木配布会	道の駅「あぐりーむ昭和」
桐生市	4月1～16日	☆第53回吾妻公園チューリップまつり	桐生市吾妻公園
	4月22～23日	☆第79回市民植木市	桐生市役所構内駐車場
	4月29日	☆さくら草まつり	桐生市新里町農産物等直売所
太田市	5月7日(予定)	☆太田市緑花祭	八王子山公園(太田市北部運動公園)
	4月22～23日	☆誕生・新築記念樹交付	第2号グリーンバンク
館林市	5月3～4日	花と緑のフェスティバル2017	つつじが丘公園大芝生広場
	5月28日(予定)	第4回多々良アカマツ植樹祭(仮称)	多々良保安林
みどり市	4月16日	☆浅原体験村創業祭	浅原体験村
	5月中旬	☆みどり市笠懸地区産業祭 春野菜共進会	JIAにったみどり笠懸野菜集出荷所
	4月15日	☆緑化苗木無料配布会	シンボルタワー駐車場
邑楽町	5月4日	☆県緑化センター「みどりの集い」	県緑化センター
	5月14日	日曜緑化講座「初夏にやっておきたいマツのミドリ摘み」	県緑化センター
	5月25日	緑化講座「早めに実施したい庭木の病害虫防除」	県緑化センター

*26市町村 63回

普及コーナー

ぐんま林業学校

前号に引き続き、県で実施している『ぐんま林業学校』の事業について紹介します。

○雇用管理の改善のための事業

・人材育成・定着支援研修
人材の確保のためには、「魅力ある職場づくり」を進めることにより、新規採用に加えて既雇用者の定着を向上させることも重要な課題となっています。このため、林業に従事している方の定着促進のための事業を実施しています。

今年度は、林業で働く若手や新規就業者の能力・技能を引き出し、やりがいや将来への期待感を持って現場作業に望めるよう、林業事業体のOJT指導者や雇用主・雇用管理者を対象に人材育成コンサルタントの講師を迎え、二部門に分けて次のとおり研修を実施しました。

(第一部 二月二十二日)

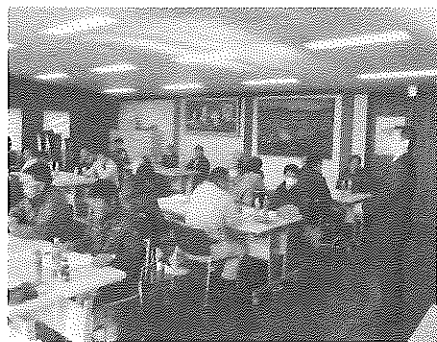
講師：人材育成コンサルタント 本田和博氏

○JIT指導者を対象としたティーチングスキルの向上による後輩指導の基本と進め方

(第二部 二月二十八日)

講師：人材育成コンサルタント 河邊議導氏

雇用主・雇用管理者を対象とした管理者の役割認識やコミュニケーション能力の向上等



OJT指導者研修の様子

なお、グループワークでは活発な意見交換が行われ情報の共有も図られました。

研修は、群馬県森林組合連合会に委託して実施し、共に三十名が研修を修了しました。

翌年度も、人材育成・定着支援につながる研修を実施する予定ですので、積極的な参加をお待ちしております。

○集約化施策を着実に実践できる人材の育成

・森林施業プランナースキルアップ研修

地域の森林づくりを計画する林業技術者の資質向上と集約化施策の普及定着を図るため、森林施業プランナー基礎研修を修了した方を対象に、次のとおり研修を実施しました。

(二日目 十二月二十二日)

(二日目 一月二十四日)

講師：経営コンサルタント 坪野 克彦氏

多野東部森林組合 浦部秀一郎氏

提案型集約化施策の必要性和工程別標準単価の考え方・提案型集約化施策の実践(工程別標準単価設定演習、コスト分析演習等)

(三日目 二月九日)

講師：森と木の技術と文化研究所

内田健一氏

目標林型と育林技術(森づくりに必要な知識の習得と森林所有者との合意形成能力向上)

(四日目 二月十日)

講師：多野東部森林組合 浦部秀一郎氏

効率的で低コストな作業システムと海外の先進林業地視察研修結果と考察(オーストリアの林業)

研修は、群馬県森林組合連合会に委託して実施し、十九名の方が四日間の研修を修了しました。修了された方には、認定森林施業プランナーの資格取得に期待したいと思います。



現場研修の様子(講師：内田氏)



海外研修報告の様子(講師：浦部氏)

第二十回群馬県 きのこ品評会の開催

当品評会は、栽培技術や品質の一層の向上、きのこの消費拡大・PRを目的として、平成二十九年一月二十四日（審査）、二十五日（表彰式及び出品物の即売等）に県庁の一階県民ホールで開催されました。

出品されたきのこは、生しいたけ、まいたけ、なめこ、えのきたけ等で、出品数は昨年よりも22点多い264点でした。きのこ生産者の皆様には、高品質なきのこを多数出品していただき、ありがとうございました。

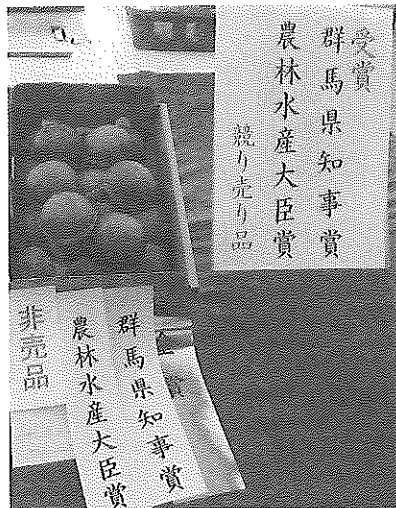


審査会の様子

また、出品物の即売も好評で、今回初めての試みとして農林水産大臣賞に輝いた生しいたけ1箱を一般の方を対象に競り売りを行ったところ、1万2000円の値が付きました。来年度も開催を予定しておりますので、多くの方のご来場をお待ちしています。

なお、各部門の最高賞は次の方々です。おめでとうございます。

部門	賞区分	受賞者
生しいたけ	知事賞 農林水産大臣賞	今井 隆 (高崎市)
まいたけ	知事賞 林野庁長官賞	(株)キノコ・輪大 (高崎市)
なめこ	知事賞 林野庁長官賞	田村 隆文 (甘楽町)
えのきたけ	知事賞 林野庁長官賞	篠原 秋雄 (嬭恋村)



農林水産大臣賞(競り売り品)

乾しいたけ(原木)の 出荷自粛の解除

東京電力原子力発電所事故による放射性物質の影響で、県では8市町村に原木乾しいたけの出荷自粛を要請していますが、生産再開の体制が整ってきたと判断し、解除に係る取扱いを定めました。

1 乾しいたけの出荷自粛状況

(平成二十九年三月現在、8市町村)

高崎市、沼田市、渋川市、富岡市、中之条町、高山村、東吾妻町、みなかみ町

2 出荷自粛解除の主な条件

(1) 生産者は「群馬県原木きのこの栽培管理に関する指導指針」を遵守して原木しいたけを生産していること。

(2) 乾しいたけの県確認検査結果が安定して基準値(100Bq/kg)を下回ること。

3 出荷自粛解除後の取組

(1) 県及び市町村は、解除された生産者の氏名等をホームページで公表するとともに、販売所に通知します。

(2) 生産者は、出荷前に検査を行うなど乾しいたけの安全性の確認や、出荷品には適切な品質表示を行います。

(3) 県は出荷期間中にモニタリング検査を行います。

4 その他

(1) 出荷自粛を解除した生産者には、証明書を発行します。

(2) 県内産の原木生及び菌床しいたけは、出荷自粛の制限等はありません。

5 問合せ先

○群馬県 林業振興課 きのこと係

電話 027-2226-3234

○(環境) 森林事務所 林業緑化係

の便り

間伐コンクール 地区審査を実施

県と林業改良普及協会が主催する「群馬県間伐コンクール」が毎年開催されており、地域の特性に応じた適切な間伐を行うことは、健全な森林の育成、森林の多面的機能の発揮のために必要であり、木材生産の増進と林業経営の安定に資するために、間伐意欲の高揚と技術の改善向上を広く普及することを目的として、今年度も渋川森林事務所管内での参加申込みによる地区審査を実施しました。

渋川森林事務所管内の参加申込みは、渋川広域森林組合と赤城南麓森林組合からの2箇所からの申込みがあり、渋川広域森林組合からは、41年生のスギ林13・24haの搬出間伐地と赤城南麓森林組合からは、60年生のスギ林5・20haの搬出間伐地の参加申込みがありました。

現地審査は、二月二十一日の朝からの降雪日に実施しましたが、審査地では、降つていた雪も止み、寒風も気にならない程度で現地



渋川広域森組現地

審査が予定どおり実施出来て良かったです。現地審査では、「間伐コンクール審査基準」に基づき、各対象地に15m×15mの標準地のプロットを2箇所ずつ設置し、毎木調査と切り株の確認や樹高、枝下、樹間等の測定を行い、林分の込み合い度や樹冠配置状況、形状・形質等を調査し、病虫被害や残存木の健全性を確認するとともに経営の実態や生産目標、施業方法等の聞き取りを実施して、審査項目による採点を行いました。

審査の結果、間伐技術の水準では僅差でしたが、高密度な路網の整備により高性能林業機械を活用した低コストな搬出間伐の実践により、森林所有者へのha当たりの還元が大きかった渋川広域森林組合の林分を地区審査で上位として県審査への推薦を行いました。

今後も「間伐コンクール」の趣旨を広く普及し、管内の素材生産業者等からの参加促進に繋げて行きたいと思えます。

(渋川森林事務所通信員)



赤城南麓森組現地

UAV(ドローン) 研修会について

UAV (Unmanned aerial vehicle) という名前を聞いたことがありますか。ドローンとも呼ばれ、遠隔操縦が可能な小型の無人航空機のことです。

近年、このドローンの活用が様々な業界で行われています。ドローンの特徴は、遠隔操作により無人で飛行して、搭載したカメラにより鮮明な静止画や動画撮影ができることです。



講師による説明状況

このため、土砂崩れ等の災害現場や地形条件が悪い場所等、調査するのに労力や危険を伴う時や全体を把握しづらい森林等の状況を把握する上で効果的と思われま

す。そこで、西部環境森林事務所では12月14日(ドローン)研修会を開催しました。研修会では、民間の測量コンサルタントか



林内ドローン飛行状況

ら講師を招き、森林の上空や林内にてドローン操作や撮影のデモンストレーション、ドローンに関する基礎知識や撮影成果を活用した3Dモデルの作成等の最新の活用事例を紹介する講義を行いました。

また、研修参加者全員を対象としてドローンの操作演習を実施しました。

実際にドローンを操作することにより、ドローンの機能特性把握や撮影成果の鮮明さが体験でき、今後の新たな森林の現況把握の手法としてドローンが期待の持てるものであることが確認できる有意義な研修会となりました。

(西部環境森林事務所通信員)

素材生産業務の省力化・効率化の試み

群馬県森林・林業基本計画における年間素材生産量40万m³を達成するためには、やはり森林組合等林業事業体の人手不足を解消することが重要です。しかし、様々の事情により求人できず、また、実際に求人しても人が集まらない状況であると聞きます。

そこで素材生産等にかかる業務を省力化・効率化し、少ない人数でいかに生産増ができるかを多野藤岡地域の森林組合等が取り組んでいます。

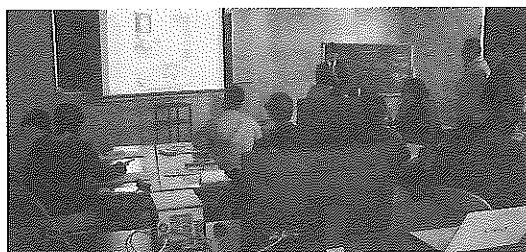
まず、GPSとGISの活用に取り組みました。GPSには森林計画図を取り込み、施業の大まかな位置や範囲を現地を知るための目安として使用しています。また、GISについては、林小班の図面等のほか、レーザ航測による図面も取り込むことにより、既設作業道等の把握、林地の傾斜の緩急や岩盤の突出状況等を迅速に把握し、森林経営計画作成の効率化を図っています。また、日本森林技術協会が開発した「もりったい」というソフトについてその活用方法を検討しています。

「もりったい」については、平成29年1月13日に第2回森林整備推進技術検討会としてその操作方法を中心とした検討会を行いました。講師には日本森林技術協会の担当者2人

をお願いし、一日をかけて検討しました。「もりったい」は空中写真やレーザ航測のデータをもとに、現地に行かなくても樹高や材積(林分・立木)をパソコン上で計測することができます。これを使用して施業プランの作成、森林経営計画作成の林分材積の把握のほか、市町村森林整備計画における適正な間伐率(林分・立木材積から伐採本数率を計算)も算出できると考えています。

高性能林業機械を意欲的に導入した林業事業体には、その操作に惹かれて就労する若者が増えたと言われました。そのようにして、コンピュータのICT技術等を率先して導入していく林業事業体に、若者が集まってくることも期待しています。

(藤岡森林事務所通信員)



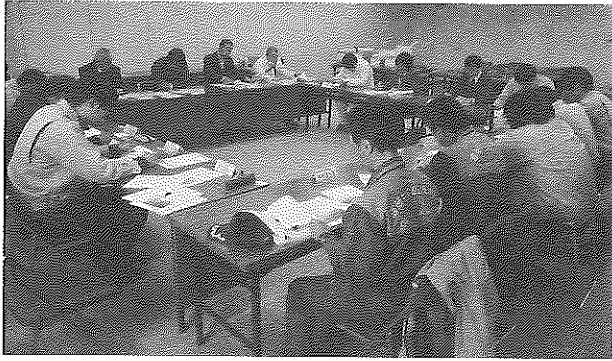
「もりったい」検討会の様子

の便り

「STOP!!山火事」 林野火災発生ゼロへの取り組み

甘楽富岡地区では2月21日に、管内市町村、消防本部、森林管理署、森林組合等関係者の出席による、平成29年林野火災防止対策会議を開催しました。

当会議は平成26年に桐生市で大規模林野火災が、また、同年には管内において死亡者を伴う林野火災が発生したことを受けて、火災予防対策の徹底と火災発生時の対応等の確認のため、昨年から毎年開催することとしたものです。会議



の実施等の具体的な提案があり、管内の林野火災の予防と対応の強化に繋がる充実した内

容となりました。また、富岡森林事務所では県民への林野火災予防意識の啓発を図るため、群馬県山火事予防運動実施期間である3月1日から5月31日の間、富岡合同庁舎のエントランスホールにおいてパネル展示を行っています。桐生市



林野火災予防啓発パネル展示

において発生した大規模林野火災と甘楽富岡地区における過去の林野火災の写真と説明を掲示、あわせて啓発物品のポケットティッシュ・チラシ等を設置して、来庁

者が立ち止まり手にとってももらえるよう工夫しました。林野火災の発生原因のほとんどは田畑での野焼きからの延焼やタバコの不始末等、人の不注意によるものであることから、広く県民に対して啓発を行い、林野火災発生ゼロに向けた取り組みを続けていきます。

(富岡森林事務所通信員)

高山村で企業ボランティアによる森林整備

年末が近づき寒くなってきた平成二十八年十二月十三日、群馬県森林土木建設協会吾妻地区による森林ボランティア活動が、高山村の「北毛青少年自然の家」付近の森林で行われたものです。

この活動は、「企業参加の森林づくり」として「森林整備等の活動に関する協定」に基づき行われました。

群馬県森林土木建設協会吾妻地区では、平成十八年から活動を行っており、今回の協定が四期目になります。

対象地は、小野子山の麓の高山村有林で、平成二十七年四月から平成三十年三月までの三年間、群馬県森林土木建設協会吾妻地区が



安全作業の説明

下刈りや除伐・枝打ち等の森林整備を行います。当日は、午前九時に「北毛青少年自然の家」付近の駐車場に、関係者十八人、吾妻環境森林

各地

事務所から三人の、総勢二十一人が集まりました。

作業は、挨拶をいただいた後に事務局長から作業区域や手順の説明があり、その後安全な作業の説明を受け参加者たちは、各々刈払機や鉋・鋸等を持ち、刈払いや除伐等の作業に入りました。

当日の朝は小雨交じりでありましたが、開始頃には雨も止んで天候もどうにかもちました。また、作業も順調に進み午前中で終了し、下草の刈払いや倒木の整理が出来、綺麗な雑木林となりました。

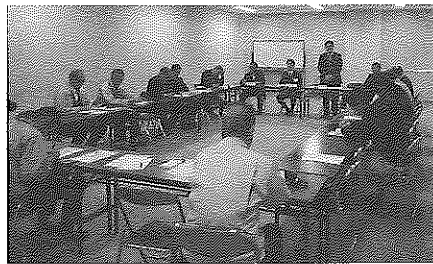
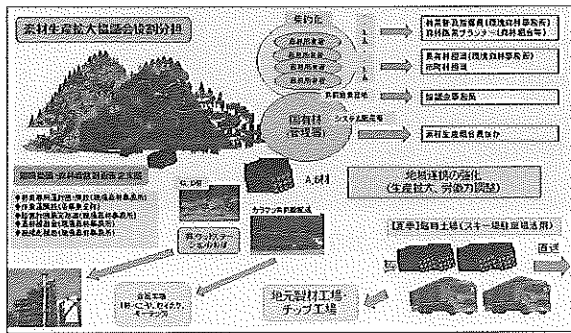
(吾妻環境森林事務所通信員)



参加者の皆さん



作業の状況



設立総会

利根沼田地域素材生産拡大 対策協議会の立ち上げ

平成二十九年三月二日、利根沼田地域素材生産拡大対策協議会の設立総会が開かれ、利根沼田管内の素材

生産の拡大を目指す協議会が発足しました。

本協議会は、利根沼田管内の五市町村、利根沼田・片品村の両森林組合、利根沼田地区素材生産組合、沼田森林協同組合、利根沼田森林管理署そして利根沼田環境森林事務所を構成員とし、林業の成長産業化の基礎となる素材生産体制を構築すべく活動を行うものです。

現在、利根沼田管内の素材生

産量は毎年順調に伸びており、二十八年度は九〇千m³近くの生産が見込まれています。しかし、群馬県森林・林業基本計画の目標としての、平成三十一年度、一一八千m³の生産、そして更にその先を見据えると現在の体制のままでは危ういものがあります。

そこで、協議会では地域森林資源の利用拡大を進めるうえで重要な次の課題に取り組んで行く予定です。

- ・ 素材の生産拡大と労務の調整
- ・ 森林経営計画の樹立支援
- ・ 森林所有者への情報提供と意向の確認
- ・ 低コスト作業システムの普及
- ・ 公有林の資源活用

協議会の会長には、利根沼田環境森林事務所長、副会長には、地域の森林施業の主体となっている利根沼田森林組合長、利根沼田地区素材生産組合長が就任するとともに、協議会内には普及員、プランナー、素材生産の代表等から成る拡大専門員が編成され、地域林業の課題と解決策について具体的に検討・提案して行く事になります。



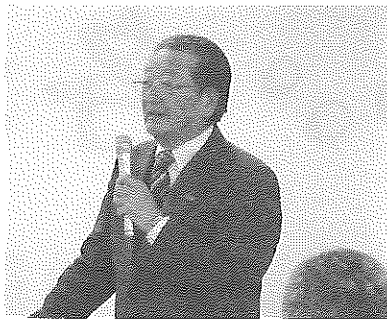
桑原会長のあいさつ

(利根沼田環境森林事務所通信員)

森林経営計画講演会 を開催しました

二月十六日(木)、桐生森林事務所の主催により「森林経営計画講演会」を開催しました。当事務所管内では、森林組合だけでなく、素材生産業者など多岐にわたる林業経営体が森林経営計画を作成しています。「区域計画」が制度として追加になり、計画面積も増加傾向ではありますが、今後さらに計画の作成を進めていくためには、新たな取り組みが必要だと思われます。

今回の講演会の対象は、管内の森林経営計画を作成する林業経営体とその計画を認定する市町村を中心に、一部他地域の関係者の方にも参加をいただきました。

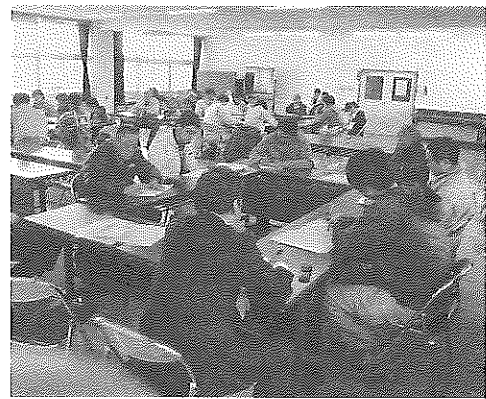


講師 鈴木組合長

「から〜」と題しまして、町と森林組合及び利根川源流森林整備隊の協働による森林整備推進の取組を紹介いただきました。

第一部の講演は、利根沼田森林組合代表理事 事組合長の鈴木敏雄様から、「森林組合と町が一体で集約化団地を設定しみなかみ町の事例から〜」と題

第二部では、テーマを「経営計画作成の『障害』と『改善策』」として、地域やそれぞれ



グループに分かれて意見交換

の立場が偏らないよう参加者が三つのグループに分かれ意見交換を行いました。

森林経営計画を作成し、集約化を進めるには、時間と労力が必要であり、地権者情報の収集や承諾の取得に苦慮している、他の認定請求者が作成している計画が不明であるため、一体的な取組ができていないなど、それぞれのグループから意見交換の内容を発表していただきました。

林業経営体と行政の連携は、一つの理想型であると思われ、また、それぞれ違う地域や、違う立場の参加者から意見や工夫・努力していることなどを聞くことができ、新たな発見や刺激につながったのではないかと感じました。

(桐生森林事務所通信員)

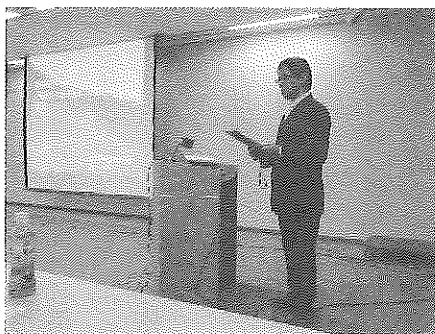
トピックス

平成二十八年 度群馬県農林水産業関係機関成果発表会

平成二十九年二月一日(水)に、県庁で五つの分科会に分かれ、標記発表会が開催されました。

林業分科会では、全十五課題(林業普及指導員四課題、林業試験場研究員十一課題)の発表があり、百九十六名の参加がありました。最新の研究成果と普及指導員の活動成果等が発表され、発表者・参加者共に実りある発表会になったと思います。また、来年度の「林業普及指導員関東・山梨ブロックシンポジウム」の代表として、西部環境森林事務所 荒井和絨副主幹の「西部管内におけるモザイク林誘導型(長期育成循環施業)の取り組み及び課題について」が選ばれました。

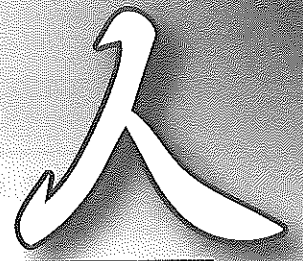
来年度も開催予定ですので、多くの方の来場をお待ちしています。



発表する荒井副主幹

(林業振興課)

地域を担う

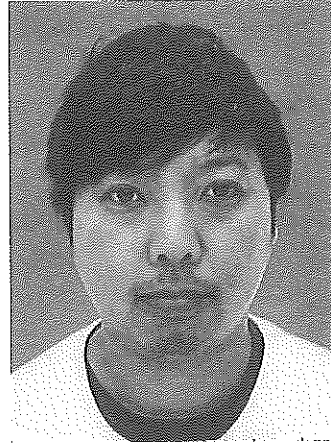


角石林業株式会社

萩原 健二

- 一 趣味 音楽鑑賞
- 二 今後の抱負

事故の無いように注意し、林業経験を重ねて、後輩の良き指導者になれるように頑張ります。

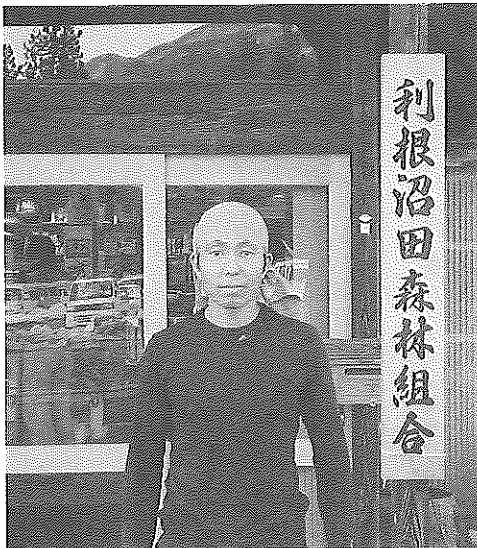


利根沼田森林組合

横坂 賢二

- 一 趣味 ドライブ
- 二 今後の抱負

FW研修で学んだことを活かして、安全面、効率面の両立を目指し、困難な作業環境の中でも心にゆとりをもって対処していけるよう、努めていきたいです。



利根沼田森林組合

大木 龍志

- 一 趣味 スキー
- 二 今後の抱負



新井木材有限会社

金子 悦治

- 一 趣味 自動車・機械いじり
- 二 今後の抱負

周りの木を傷めないように、冬には多くの間伐をしています。
間伐することによって、山が明るくなり蘇っていくように感じます。
伐倒から造材、集材、重機運転と生涯続けていきたいと思っています。



ケガや事故をせず、永く林業に携われれば良いと思います。

群馬県内のヤマビル分布について

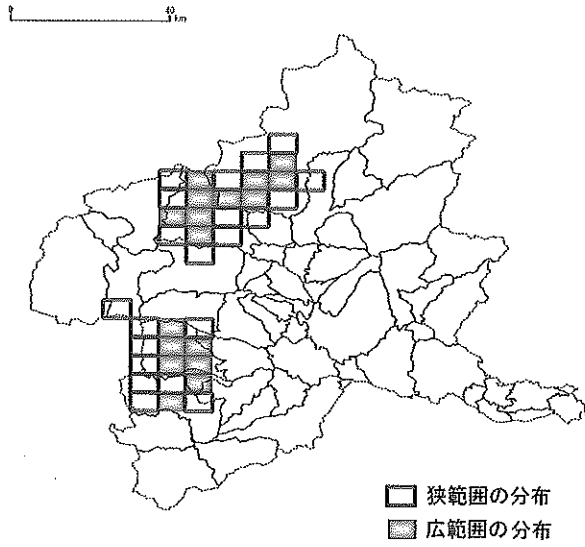


図1 2009年調査

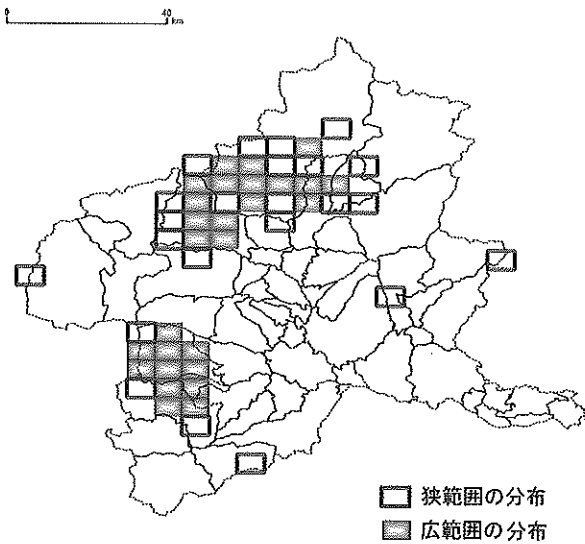


図2 2016年調査

ヤマビルは、陸生ヒルとして人や野生動物を吸血し生存する環形動物です。落ち葉の下などに潜み、動物が近づく振動や呼気に反応し素早く付着します。全国的には秋田県から鹿児島県まで広く生息しており、群馬県におけるヤマビルの生息分布の状況は坂庭らが七年前（二〇〇九年）に報告しました。

ヤマビルが生息することで、森林内作業や住民の生活上の不安が生じたり、登山者が吸血被害にあうなど、観光面でも負の影響が生ずる恐れがあります。

また、シカやイノシシなど野生動物の分布

拡散と強い関係性があることから、詳細な生息地点の把握は将来の影響評価に必要な基礎データとなります。

調査は記名アンケートによる方法とし、自然に接しヤマビルを見聞きした経験のある方々として鳥獣保護管理員、自然保護指導員、県内森林組合、県内素材生産流通協同組合、自然保護関係者など二四七名・組織の皆様にご協力いただきました。

調査の結果、七年間で一・三倍に分布が増加していることが確認されました。新たに分布が拡大した十七メッシュの中で、急速に分

布が広がった場所が抽出されました。例として沼田市戸神山周辺、川場村、三国山周辺などで、被害報告が広範にわたることが分かりました。また、桐生市黒保根町の梨木温泉周辺では以前（十年以上前）から分布があり、赤城山山系に属する唯一の生息地であることがわかりました。

今回のアンケート調査では分布減少が八メッシュで確認されましたが、二〇〇九年の調査手法との違いにより生じた可能性があり、追加調査を実施します。

アンケートの中で、ヤマビルが森林から果樹園など農地に広がる事例も報告され、農業生産にも影響が及んでいることが確認されました。このように近年になり分布が拡大した地域では、ヤマビルへの関心が高く、早急な対策が求められていました。

七年間で一・三倍に分布拡大した要因については、野生動物（シカ、イノシシ等）との分布変遷を把握したうえで統計的な解析を行う予定です。

今後もヤマビル情報の提供について御協力をお願いいたします。

なお、本報告は中間段階の結果のため、図2については変更になることがありますのでご了承ください。

森の談話室

小さな町の大きな挑戦

神流町町長 田村利男さん



今回は、神流町長として町の林業再生に取り組む田村利男さんをご紹介します。

神流町は、平成15年4月に万場町と中里村の合併で誕生した人口二千十三人、千世帯の小さな町です。(平成二十九年二月一日現在)町の真ん中には関東一の水質を誇る清流・神流川が流れ、全国で最初に「鯉のぼり」をイベント化した町として、また日本で初めて恐竜の足跡化石が発見された町としても有名です。

田村町長は、平成27年4月に就任後、町議会議長を務めた経験や、家業である造園業での経験を活かし、幅広い人脈と機動力のあるフットワークを使って、精力的に町政に取り組まれています。

神流町には民有林がおよそ八千ヘクタール、そのうち五十六パーセントが人工林と大変豊かな森林資源を有していますが、一方で、町の人口は年々減少し、十五から六十五歳までの生産人口は全体の四十パーセントを割り込んでいます。

このため、町の林業の担い手は町外からの移住者や通勤者に頼らざるを得ませんが、地元の神流川森林組合で働く職員や現場従事者は年々減少しており、担い手不足が深刻な状況です。

そこで田村町長は、神流町と神流川森林組合、関係機関と協働で、当面は意欲ある担い手の確保が最優先課題と位置づけ、働き手が安心して仕事に専念できる、「住んでよかつた」と実感できる生活環境づくりと、町の



神流町役場、神流町議会、神流川森林組合と参加した現地研修会(一番左が田村町長)

林業が魅力ある、働きがいのある場となるような就業環境づくりを、町

をあげて目指すこととなりました。

また近い将来、林業が町の基盤産業となつて、森林所有者さんへの利益還元が活発になり、町の森林が誇りとなるよう、そして林業で働くことが町で生まれた子どもたちの「あこがれ」となることを目指した「林業成長産業化地域構想」を取りまとめました。

「やればできるんだから!!あきらめない!!」と、日々役場のみなさんを励ます町長の大きな声からは、町の未来を思う熱くて深い気持ち伝わってきます。田村町長を先頭に、神流町が挑戦する新たな林業、新たな森林活用の展開が大変楽しみです。田村町長の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

最後に神流町では今、平成二十九年五月に開催する、第七十一回群馬県植樹祭に向けてみなさまをお迎えする準備を進めています。新緑の季節、鯉のぼりが泳ぐ緑と水の神流町へぜひお出かけください。

(藤岡森林事務所通信員)



第70回県植樹祭(川場村)みどりの女神と

株式会社 山藤組

代表取締役 山藤 浩一

〒376-0141 群馬県桐生市黒保根町水沼乙53 TEL 0277-96-2511

総合建設業

土屋建設株式会社

代表取締役 畑 行 至

安中市松井田町五料1634-1

☎(027) 395-2923 FAX 395-3844



緑の募金で
緑豊かな ふるさと ぐんま

公益社団法人 群馬県緑化推進委員会

前橋市大手町1-10-7 群馬県公社総合ビル内

☎ 027(280)6257

URL: <http://www.g-sinrin.jp/>

ふるさとの木で家を建てよう

県産材を使って

住宅を建築すると最大65万円

県が補助します

内装を施工すると最大20万円



一般社団法人 群馬県木材組合連合会

〒379-2131 前橋市西善町524-1

電話: 027-266-8220

<http://www.gunma-wood.com/>

ひとりとこと、桜の花が咲き、真新しいランドセルを背負った新一年生の姿が新鮮です。いろんな職場で先輩が去り、新人を迎え、同僚の入れ替えがあつたりします。4月は新しい年度のスタートです。林業の現場にも若い人が増えてきました。厳しい時代ですが力を合わせて頑張りましょう。

(K.A)